

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

第1節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名

H3T11p Antibody

製品コード

C15410309

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途

診断または治療での使用ではなく、研究用のみ。

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50

メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第2節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外。

2.2 ラベル要素

必要ない

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第3節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当 (混合物)

3.2 混合物

混合物の明細

この製品は、緩衝水溶液中の抗体で構成されています。0.05%アジ化ナトリウムを含むそして0.05% ProClin™ 300 防腐剤として。

物質名	特定名	wt%
proclin 300	CAS-番号 55965-84-9	0,05

アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<=0,1%。

省略の全文：第16節を参照。

第4節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない。被災者を危険区域から移動させ。被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと。汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること。疑念がある場合や症状が持続する場合には医師の診察を受けること。意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと。

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医師の診察を受け、応急処置を開始すること。新鮮な空気を入れること。

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。開眼しておき、最低10分間多量な清浄水で洗浄しておくこと。

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと (犠牲者が意識がある際のみ)。無理に吐かせないこと。

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない。

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第5節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO₂)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと。環境に適する消防対策を調整すること。消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと。汚染された防火用水を別けて回収すること。標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと。

第6節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること。

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること。

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと。汚染された水は確保し、廃棄すること。物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること。

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）。漏出物を回収すること：おがくず、珪藻土、砂、万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材。

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること。汚染地域を換気すること。

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第5節を参照。個人の保護具：第8節を参照。混触危険物質：第10節を参照。廃棄上の注意：第13節を参照。

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

第7節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策
局所及び全体換気を使用すること。よく換気された場所で使用すること。

安全取扱注意事項

使用後の手洗い。作業域内での飲食と喫煙の禁止。食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し。飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと。通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと。食品、飲料、動物用のエサからは離して保管。

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策。

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること。局所及び全体換気を使用すること。

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：
着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと。認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能。

7.4 特定の最終用途

概要は第16節を参照。

第8節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない。

混合物の成分の関連するDNEL						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	DNEL	0,02 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性一局所的作用
proclin 300	55965-84-9	DNEL	0,04 mg/m ³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性一局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC						
物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	PNEC	3,39 µg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	3,39 µg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,23 mg/l	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,027 mg/kg	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,027 mg/kg	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
proclin 300	55965-84-9	PNEC	0,01 mg/kg	地球型生物	土壌	短期（単回）

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

8.2 ばく露防止

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置 (個人的保護措置)

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護 (バリアクリーム/軟膏) を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第9節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	液体
色	無色の
臭い	無臭
融点/凝固点	測定できない
沸点又は初留点及び沸点範囲	測定できない
可燃性	可燃性でない
爆発下限界及び爆発上限界	測定できない
引火点	測定できない
自然発火点	測定できない
分解温度	データがない
pH (値)	測定できない
動粘性率	測定できない
溶解度	測定できない

分配係数

n-オクタノール/水分配係数 (log値)	この情報は、入手できない
-----------------------	--------------

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

蒸気圧	測定できない
-----	--------

比重

密度	測定できない
相対ガス密度	当該特性に関する情報がない

粒子特性	非該当 (液体)
粒子特性	情報なし

9.2 その他の情報

物理的危険性クラスに関連するデータ	GHSに従った危険有害性クラス (物理化学的危険): 非該当
他の安全特性	追加情報がない

第10節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照。

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照。

10.3 危険有害反応可能性

危険な反応は知られていない。

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない。

10.5 混触禁止物質

追加情報がない。

10.6 危険有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない。有害性燃焼生成物：第5節を参照。

第11節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし。

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）。

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない。

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

皮膚腐食性／刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない。

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない。

発がん性

発がん性として区分に該当しない。

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない。

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない。

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない。

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない。

第 1 2 節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない

混合物の成分の（急性）水生毒性					
物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	LC50	0,19 mg/l	魚	9 6 h
proclin 300	55965-84-9	EC50	0,16 mg/l	水生無脊椎動物	4 8 h
proclin 300	55965-84-9	ErC50	19,9 µg/l	藻類	7 2 h

混合物の成分の（慢性）水生毒性					
物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
proclin 300	55965-84-9	LC50	0,07 mg/l	魚	14 d
proclin 300	55965-84-9	EC50	→0,18 mg/l	水生無脊椎動物	21 d
proclin 300	55965-84-9	ErC50	45,6 µg/l	藻類	120 h

12.2 残留性及び分解性

混合物の成分の分解性						
物質名	CAS-番号	プロセス	分解率	時刻	方法	出典
proclin 300	55965-84-9	二酸化炭素生成量	38,8 %	29 d		ECHA

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

12.3 生体蓄積性

データなし.

混合物の成分の生物蓄積性				
物質名	CAS-番号	BCF	log KOW	BOD5/COD
proclin 300	55965-84-9	54	7-0,34 - 7,63 (pH 値: 7, 10 °C)	

12.4 土壤中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第 1 3 節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと. 取扱説明書を閲覧すること.

包装材/容器の廃棄物処分

認可された (例えば危険物規則書に基づいた) 包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたコン包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第 1 4 節：輸送上の注意

14.1 国連番号

輸送規則の要件は適用されない.

14.2 国連輸送名

非該当

14.3 輸送時の危険有害性クラス

未特定

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

14.4 容器等級

未特定

14.5 環境有害性

危険物規則に基づいて環境有害性ではない。

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない。

14.7 IMO 文書に基づいたバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない。

国連モデル規則による情報を提供すること 輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

輸送規則の要件は適用されない:UN RTDG

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外。

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

CAO - IATA協定対象外.

輸送上の注意

- | | |
|---------------|--------|
| - 国内規制：陸上規制情報 | 適用されない |
| - 国内規制：海上規制情報 | 適用されない |
| - 国内規制：航空規制情報 | 適用されない |

第 1 5 節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第 1 6 節：その他の情報

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性（急性）
Aquatic Chronic	水生環境有害性（長期間）
BCF	生物濃縮係数
BOD	生物化学的酸素要求量
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
COD	化学的酸素要求量
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
EmS	救急スケジュール

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

略	使用した略語の説明
ErC50	≒EC50: 当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	危険物の航空安全輸送に係る技術指針
IMDG	国際海上危険物規則
IMDGコード	国際海上危険物規程
LC50	半数致死濃度: LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
log KOW	n-オクタノール/水
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
Skin Sens.	皮膚感作性
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

GHSに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.

健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている (加算式).

関連する警句のリスト (項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載)

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H311	皮膚に接触すると有毒.
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷.
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ.
H318	重篤な眼の損傷.
H332	吸入すると有害.
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.

H3T11p Antibody

バージョン番号: GHS 1.0

編集日: 19.08.2022

コード	文
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性.
H411	長期継続的影響によって水生生物に毒性.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。
。